

この作品はヴェルディの第4作目『ナブッコ』の次に書かれた作品で『ナブッコ2』とも呼ばれています。息をつかせぬストーリーが、素晴らしく美しいアリア・重唱曲・合唱曲等の美しい音楽に乗って進んでいきます。日本でも公演されるのは貴重で珍しい演目となっています。

あらすじ

第1幕：11世紀末のイタリア・ミラノ。聖アンブロージョ教会から物語は始まる。以前美女ヴィクリンダをめぐって争い、兄アルヴィーノを傷つけた罪で追放されたパガーノが聖地巡礼を終えて帰郷してきたが、兄の妻となったヴィクリンダへの想いと兄への恨みが捨てきれずに復讐しようとする。しかし、誤って父親を殺し、再び追放されてしまう。

第2幕：第一回十字軍の司令官に任命され聖地エルサレムを目指して進軍するアルヴィーノ。しかしイスラム教徒のアンティオキア領主アッチャーノの後宮に娘のジゼルダをさらわれる。洞窟に住む隠者に助言を求め、奪還に向かうも、ジゼルダは領主の息子オロンテと恋仲になっていた。密かにキリスト教に改宗していた母ソフィアの勧めもあり、オロンテも改宗に心が動いている。そこへ攻め込んできた十字軍は殺戮を欲しいままにする。オロンテも死んだと聞かされたジゼルダは『血まみれの殺戮は神の意志ではない』と父を非難する。激怒して抜刀するアルヴィーノを隠者が止め、怒りと悲しみのあまりジゼルダは狂乱する。

第3幕：連れ戻された十字軍の陣営から抜け出したジゼルダは、死んだと思っていたオロンテと再会する。想いを確かめ合い、二人で逃亡するが、十字軍の襲撃を受けオロンテは瀕死の重傷を負う。絶望し神を非難するジゼルダの前に現れたのは洞窟の隠者。ジゼルダを諷めた隠者はオロンテに洗礼を受け、キリスト教徒となったオロンテはジゼルダに天国で待っていると告げ息絶える。

第4幕：渇きに苦しみ、故郷を思う巡礼者達や兵士達の前にジゼルダが現れ、天国のオロンテから告げられたシロアムの泉の存在を伝える。聖なる泉の力で回復した兵士たちはエルサレムを攻撃する。激しい戦闘ののち、瀕死となった隠者は実はパガーノだった。アルヴィーノに許しを請うパガーノ、そして兄弟の和解。その時、エルサレムの城壁に十字軍の勝利を知らせる旗が高々と掲げられるのだった。

出演



<25日>ジゼルダ <26日>
三井ひかり



倉科京子



<25日>オロンテ <26日>
岩原陽一郎



井藤航太



<25日>パガーノ <26日>
武田義久



横山弘泰



<25日>アルヴィーノ <26日>
久保順平



横西久幸



<25日>ピッコロ <26日>
井手 守



上條力秀



アッチャーノ
藤森秀則



<25日>ヴィクリンダ <26日>
下平玲夏



西山範子



ソフィア
塚田美樹



プリアーレ
村田耕太郎

会場のご案内・お問合せ

キッセイ文化ホール 長野県松本市水汲 69-2

松本駅からバスで約 20 分。

バスターミナル 1 番または 2 番より乗車。

【1 番】信大横田循環線「総合体育館」で下車。徒歩約 3 分

【2 番】横田信大循環線「松本第一高校」で下車。徒歩約 5 分

お問合せは 090-4393-6001 (倉科) まで

ホームページ: <http://opera.zenkyuin.or.jp/>

E-mail: lyric-pop@zenkyuin.or.jp

